

# ちから

2017

彼岸号

VOL.149

浄土宗西山深草派宗務所  
総本山 誓願寺



◆ 誓願寺 若冲涅槃図 虫干し之図 画 中川 学 ◆

## 目次

● 布教師会HPの紹介

● 賢問子行状記⑱

● 迷子みちしるべ七

● お釈迦さまの十大弟子 ⑨

● インド **ド** **タ** **バ** **タ** 夫婦道中記 ④③

● 総本山誓願寺だより

● 何でも“お寺探偵団” Vol.47

光明山 円城寺 宝珠院

# お説教(法話/説法)を、 ご本人の声で聞くことができます!

今すぐ! ご検索下さい!!

深草派 布教師会

検索



## 季節の法話 2月



愛知県西尾市 専長寺住職

**木村賢隆師**

御題「お釈迦さまと投薬」

私たちの心の病に法然上人は、念仏と云う薬を投薬して下さったのです。

## 季節の法話 3月



愛知県西尾市 称名院先住

故**深津実乗師** H22 御遷化

御題「袋の名号」

袋の中は「南無阿弥陀仏」という仏さまが入っていて区別が出来ない。それは私の姿でもあります…。

## 平成29年1月の法話 (2)



愛知県西尾市 宝珠院住職

**杉浦円祐師**

御題「お恵みに気づく」

肉魚野菜「いのち」を戴く。太陽空気「自然」の恵みや、先祖から続く知恵工夫もお恵みであります。

## 平成29年2月の法話 (1)



愛知県名古屋市 蓮華寺住職

**稲田順学師**

御題「泥に咲く蓮」


疑いの心を持っているのが私たちです。あるきっかけで私たちは佛の心を戴きます。

浄土宗西山深草派布教師会の  
ホームページの紹介です

誓願寺

私どもの総本山誓願寺は、古く女性がしいた虐げられていた時代から、「女人往生」の寺として名が知れ渡っております。また、毎月決められた「洛陽六阿弥陀」の功德日には、午後2時より「お説教」を行っております。是非ご参拝下さい。





# 賢問子行状記

総本山誓願寺執事 小島英裕

19



## 第十三話

### 「真阿上人、念仏弘通」(後編)

真阿上人在世の時、相国寺に心了西堂という僧侶がいました。ある時、病により突然亡くなりました。しかし体が少し温かいので葬儀を行わず一日が過ぎました。すると突然蘇り語り出しました。

「私は冥土に赴きました。広々とした野原を行くと金堂があり、中を見れば阿弥陀三尊がありました。観音菩薩さまと勢至菩薩さまは左右の蓮台にありましたが、中央の仏さまは祀られています。お堂の隅に八十歳程の老僧がおられたのでその訳を尋ねました。

老僧は、

『誓願寺に真阿弥陀仏という深い信仰心を持った念仏行者がいる。真阿上人が亡

くなった後、この中央の仏さまとなられるのだ』

と答えました。山の麓を見ると庵があります。

『あれは誰の庵室ですか』

と私が尋ねると、老僧は、

『そなたが住む庵室です』

と答えました。また私は尋ねました、

『私の坐禅が劣っているのですか？金堂に住む真阿上人に私が及ばないのは何故ですか？』

と。すると老僧から、

『そなたの坐禅は真阿上人には及びません。そなたはまだ冥土に来る者ではない。早く元の俗世間に帰りなさい』と告げられ、私は蘇りました』と。

心了西堂は急いで誓願寺に詣で、真阿上人を礼拝し深く尊敬して、十念を受けることを望みました。しかし真阿上人は

辞退しました。

心了西堂は、

「冥土のお告げにより参りました。十念をお授けください」

と何度も願ったので真阿上人は十念を授けました。それから心了西堂は、加茂山の麓に庵を結び、念仏の行者となり往生の素懐を遂げたので、人々は益々真阿上人を生身の如来さまと敬いました。

真阿上人は、応永十七年(一四一〇)の発心から老後の臨終まで念仏の行者でした。極楽往生が近いことを悟った真阿上人は沐浴、剃髪し仏前に向かい端坐合掌して、永享十二年(一四四〇)七月二日、六十六歳の時、念仏の声と共に亡くなりました。遺言により、上人の遺骸は水葬として下鳥羽の淵に沈められました。それからはこの水葬の場所を「真阿の淵」と名付け、今でも殺生禁制の淵となつています。おそらく真阿上人は、阿弥陀仏の化身か、極楽に渡る舟なのです。阿弥陀さまの仮のお姿として真阿となり、口称念仏の教えを示し人々を導かれたのであります。

(つづく)

京都 本山誓願寺

# 迷子みちるべ

七

今、二股大根を何に見立てますか？

総本山誓願寺蔵 高精細複製『果蔬涅槃図』(部分)

昨年十一月、江戸中期に京都で活躍した奇想の画家、伊藤若冲の代表作の一つ「果蔬涅槃図」の高精細複製画が「里帰り」しました。明治期まで総本山誓願寺にあった原画は現在、京都国立博物館が所蔵しており、伊藤家の菩提寺である宝蔵寺さまより寄進いただきました。「果蔬涅槃図」はお釈迦さまの入滅(亡くなられた様子)を描く仏涅槃図をモチーフに、中央に横たわるお釈迦さまを二股大根で、取り囲む弟子らを野菜や果物に置き換えた、若冲晩年の作とされる水墨画です。今回完成した複製画は実物を縮小した大きさに、文化財の保存事業に使われる現在の最高技術をもって、見事に奥行き、筆づかいなど細部まで再現されています。

若冲はこの「果蔬涅槃図」を通して、わたしたちに何を問いかけているのでしょうか。若冲の生家は総本山誓願寺から徒歩数分の錦市場にあった青物問屋で、この水墨画は若冲の母親が亡くなった際に、一族の冥福を祈って描かれたとされています。お釈迦さまに見立て、中央に大黒天さまゆかりの二股大根を描き、豊穰の願いを込めているのかもしれませんが、また、当時飢饉で

## 本山納骨のご案内

- 永代納骨(20万円)  
・本山納骨堂へ永久に安置致します。
- 須弥壇納骨(10万円)  
・本山納骨堂へ20年間安置致します。永代納骨への切替も出来ます。
- 普通納骨(5万円)  
・合同で京都深草の真宗院にある納骨堂にお納め致します。永代納骨や須弥壇納骨への変更は出来ません。

※詳細、また納骨をご希望の方は、菩提寺までお問い合わせ下さい。

苦しむ人々に、保存食に適した八十八種の野菜や果物をわかりやすいように伝えるためであったという説もあります。いずれにせよ、仏教を篤く信仰していた若冲が、当時日本有数の繁華街のまん中に立ち、庶民のお施餓鬼寺として多くのひとに親しまれていた総本山誓願寺に、この「果蔬涅槃図」をお供えたことは、晩年の若冲が送った、メッセージではないでしょうか。

若冲にとっても、店先に並ぶ野菜や果物は日常のものです。横たわる二股大根に非日常の生死を発見し、手を合わせる対象として、命の有難さをこの「果蔬涅槃図」に描いたのではないのでしょうか。

今回「里帰り」したのは、複製画です。しかし、一般的な価値観で見ると、再現された若冲の願いを心の眼で観るかは、わたしたち次第だと思います。(総本山誓願寺 非常勤職員 石倉真明)

お釈迦さまの  
ご生涯  
外伝

# お釈迦さまの十大弟子 9

絵・豆田織奈 文・釈尊法話会

頭陀第一の摩訶迦葉 その5

をしていました。それ故に、食い違いが起りました。

お釈迦さまが涅槃にお入りになられた後、摩訶迦葉は仏教教団を引き継ぎました。師の教えを守り、新たなリーダーの下、布教に励む弟子達でしたが、問題が起りました。

「私はお釈迦さまからこのように教えて頂いた」

「いやいやそれは間違っている。私はこう教えて頂いた」

と、弟子達のお釈迦さまから聞いたことが食い違っていたのです。当時は紙に書いて記録することなく、お釈迦さまが語った言葉を全て弟子達の頭の中に記憶

摩訶迦葉はこの状況を危機と感じ、弟子達を一同に集め、お釈迦さまの教えの

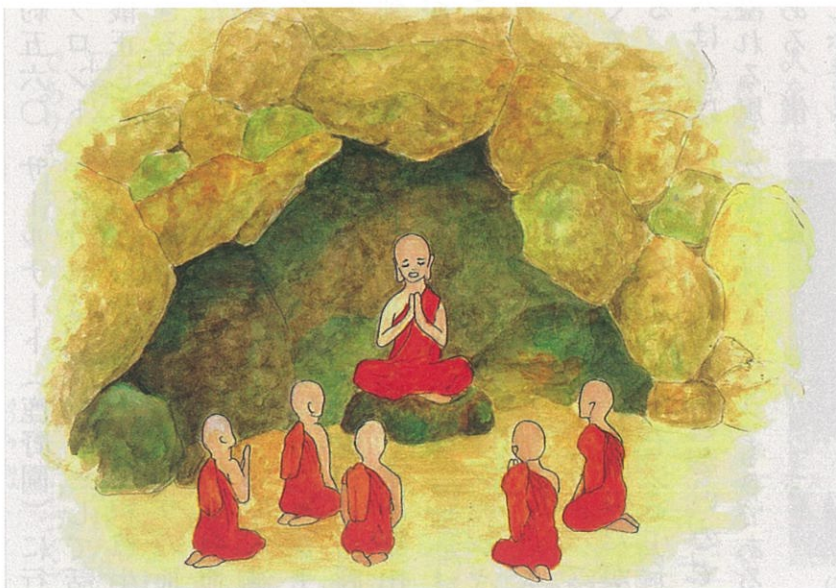
確認をお互いしようと考えたのです。教団の規則である「律」を優波離が称え、お釈迦さまの教えである「経」を阿難が称えました。それに対して弟子達が、

「私が教えて頂いたことと間違いがない」

「いや、私はお釈迦さまからこのように聞いた」

と、一言一句確認しました。そして「律」と「経」が纏められたのです。これが第一回目に行われたので、「第一結集」と言います。

その後、仏教教団は問題に直面した時に結集を開催し、お釈迦さまの金言を確認し合いました。結集は現在までに6回行われ、第六結集は1954年にビルマ（現在のミャンマー）で行われました。



第一結集



東龍寺 住職 岩瀬 賢良

## 再びバラナシへ

午後十一時半、一駅手前のムガルサライで終点になり、目的のバラナシへは乗り継ぎの列車は早朝しかないとのことで、タクシーで行くことにした。安全のためにバラナシ警察署まで行き、そこで安心できる安ホテルを紹介してもらった。君が提案したので、なかなかいいアイデアだと思い、タクシーに乗り込んだ。何ともハードな一日だった。

警察署の前でタクシーを降り、中に入ると私服の警察署員らしき男が数人いた。安くても評判の良いホテルを尋ねると、彼らは相談しながらいくつかのホテルを快く教えてくれ、最寄りのホテル・ヴィジャイ・インターナショナルに決まり、おまけに表通りを走る顔見知りらしきオートリクシャーを呼び止めて、見送ってくれたのである。

着いたホテルは古く格調のある建物で、ツインの部屋が一泊二五ルピー（約五六〇円）と高くもなく、フロントの対応も従業員も礼儀正しく、これなら安心できると感じ、二泊の予約をした。翌朝はガンジス河にご来光を見に行くことになったのだが、僕は既に経験していたし、かなり疲れていたもので、到底起きられないと思い、皆が帰るまでゆっくり寝ていることにした。やはり、翌朝は声をかけ合って三人が出て行くのは憶えていたが、帰ってくるまで熟睡していたのである。ご来光を見に行った三人は舟に乗って沐浴と活気に溢れる風景に感動したようである。僕もやつと頭が動き出しホテルのレストランで、ジュースとバタートーストとオムレツ、そしてミルクティーをとりながらその日のスケジュールを話し合った。当然のことバラナシに来たなら、釈尊が悟りを得たブッダガヤから、西北西に二百キロメートル余りの



初転法輪の像（サルナートにて）

地、初めての説法（初転法輪）をしたバラナシ郊外のサルナート（鹿野園）に行かなければ、仏教者として話にはならない。因みに釈尊誕生の地ルンビニ、悟りの地ブッダガヤ、初転法輪の地サルナート、そして入滅（生涯を終える）の地クシナガラを、仏教の四大聖地と呼び、ラジギールの耆闍崛山（靈鷲山）、サヘート・マヘート（祇園精舎）、サンカシャ、ヴァイシャリーを加えて八大聖地と呼ぶ。僕はこれまで、六つの仏跡を訪れたのだが、サンカシャとヴァイシャリーにはまだ行っていないので、次回には必ず行くつもりである。

少年少女参拝団 参加者募集

毎年夏休みに小学5年生、6年生を対象に行っております。今年は8月22日(火)、23日(水)の2日間となります。定員は60名、定員に達し次第締切とさせていただきます。各寺院へ募集要項をお知らせしますので、詳しくはそちらをご覧ください。



総本山誓願寺だより

◆おもな行事予定

- 三月
  - 十四日(火) 善導忌・六阿弥陀功德日
  - 十七(金)～二十三日(木) 春彼岸
- 二十五日(土)～四月四日(火) 法脈相承
- 四月
  - 八日(土) 花まつり
  - 十五日(土) 六阿弥陀功德日
  - 二十三日(日)～二十五日(火) 元祖法然上人御忌法要
- 五月
  - 十八日(木) 六阿弥陀功德日
- 六月
  - 三日(土) 和泉式部忌
  - 十九日(月) 六阿弥陀功德日
- 七月
  - 十四日(金) 六阿弥陀功德日
- 八月
  - 十五日(火) 六阿弥陀功德日
  - 十六日(水) 精霊送り・盆施餓鬼
  - 二十二日(火)～二十三日(水) 少年少女参拝団

クイズコーナー

【問題】

何でもお寺探偵団で、宝珠院に宛てた書状を出した大給松平家第十四代目は誰でしょうか？漢字二字でお答え下さい。

松平 ○ ○

官製はがきに、答え、郵便番号、住所、氏名、電話番号、菩提寺(だんな寺)、感想や質問を必ず書いてご応募下さい。その中より紙面に採用させて頂くことがあります。掲載時には、はがきにてご連絡差し上げます。名前の掲載が困る方は、その時にご返事下さい。今回は、宝珠院さまよりお守りと線香のセットを5名さま、本山謹製線香を5名さま、合計10名さまに抽選して差し上げます。ご応募お待ちしております。

【宛先】 千四四四-二五〇五

愛知県岡崎市本宿町東木竹十六番地  
欣浄寺内 ちかい編集係

答え ○ ○ ○ ○  
郵便番号  
住所  
氏名  
電話番号  
菩提寺(だんな寺)  
感想・質問等

【締切】 五月三十一日  
(消印有効)

ちかい 第149号

発行日 平成二十九年三月五日  
発行所 浄土宗西山深草派  
総本山誓願寺

京都市中京区新京極桜之町四五三番地  
電話 (〇七五) 二二二-〇九五八  
FAX (〇七五) 二二二-二〇一九  
E-mail info@fukakusa.or.jp  
URL http://www.fukakusa.or.jp/

# 何でも お寺探偵団

ほうしゅいん 宝珠院

Vol.47



今回は愛知県豊田市にある「光明山 円城寺 宝珠院」を訪ねました。

### profile

**鳥山 覚史 師**  
 (宝珠院 第31世)  
 昭和40年7月18日生れ 51歳  
 昭和53年宝珠院道場にて得度。昭和63年東海大学を卒業。平成11年宝珠院副住職拜命。平成27年宝珠院住職拜命。なお、大学卒業後税理士事務所に入所し、現在も税理士として勤務。

### Q1

お寺の歴史を教えてください。

当山は、元は真弓山円城寺と号し、香嵐溪の名所飯盛山の東、真弓山の北麓にあり、天

### Q2

お寺の宝物は何ですか？

ご本尊である阿弥陀如来三尊立像、一光三尊善光寺阿弥陀如来立像、善導大師像、法然上人像、大給松平家第十四代乗全公の書状です。

### Q4

「ちわい」読者に何か戴かせませんか？

お守りとお線香をセットで5名の方に差し上げます。

### Q3

お坊さんとして心がけは？

「感謝」です。ご本尊阿弥陀さまに、当山歴代上人に、檀信徒の皆さまに、家族に、いつも感謝の気持ちを持つことを心がけています。

当山に宛てられた乗全公の書状ですが、当時、幕府老中であった乗全公は、安政の大獄事件に対し心配りして取り調べを行った恩賞として、越前領一万石を肥沃な遠州二万石へ村替えを賜った際の書状であります。大給松平家二代、三代、四代のご霊前にその喜ばしいことの報告と、太刀、馬の代わりに白銀十両ずつのご寄進をする旨の内容です。現在は西尾市資料館に展示されております。是非ご覧になって下さい。

### 【交通】

名鉄バス岡崎・足助線バス停「足助」下車徒歩5分

### 【主な行事】

- 節分会 2月3日以前の日曜日
- 御忌会 2月最終日曜日
- 春彼岸会 春分の日の前日と春分の日
- 盆施餓鬼会 8月11日
- 秋彼岸会 秋分の日の前日と秋分の日

### 【お問い合わせ】

宝珠院  
 〒444-2424  
 愛知県豊田市足助町東井ノ上16番地  
 電話 0565-62-0348



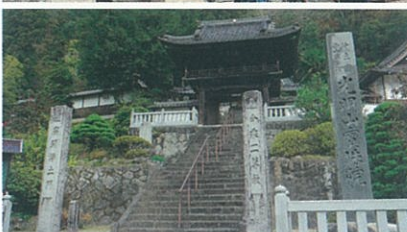
善導大師



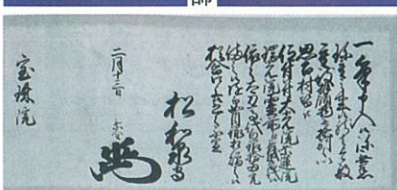
法然上人



本堂



山門



書状